

北朝鮮問題を考える(Ⅱ)

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。

開倫塾の塾長の林明夫です。

今日も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。

2. 先週、私が北朝鮮というか、朝鮮民主主義人民共和国を訪問した話をさせてもらいましたが。行かせて持ったのは5年前の1997年の4月28日から5月の3日迄で、高井伸夫さんという弁護士の先生、この方は労働事件で結構有名な弁護士の先生なのですが、その先生を団長にしまして、民間の訪問団を組みまして、名古屋空港から100数十名のれるチャーター便で行きまして、全部で28名の会社経営者の方が行きました。当時NHKのアナウンサーをしていました、高井先生のお嬢さんの高井まりこさんも行かれたり、TBSの役員の方、マスコミの方、随分多くのかたと一緒にいて、朝日友好親善協会主催の歓迎会とか、金日正総合大学を訪問して、副学長の方とか、朝日友好親善協会の会長と会見させて頂いたり、いろいろあちこち見させて頂きました。

3. なぜ北朝鮮、朝鮮民主主義人民共和国が、今回のような、たくさんいろいろなことをなさっているようですが、私の率直な感想ですが、北朝鮮は今もそうかもしれませんが、今戦争状態ですね、資本主義の体制と社会主義の体制と戦争をして、昔やっていましたが、冷戦、その続きをまだやっているわけです。以前は旧ソ連、中国から石油を無料でお金を一銭も払わずにエネルギーをもらって、自分たちの国を維持していたわけです。その代わりに社会主義体制を守ることでやっていたわけです。

4. 戦争状況なわけですから、なんでもあり。いろいろ、平時ではやってはいけないこと、日本軍も随分やったみたいですけど、戦争状況なので、何の疑いも無くやっていたということ。その一つが人さらい。平時は本当にやってはいけないんですが、戦争の時は何でもやっちゃう。片方は戦争ではないわけですから、そちらからみると本当におかしな話です。当事者から見れば当たり前というような、非常にちぐはぐな状況だと思うのです。

5. 今週月曜日に、たまたま、私はエコノミストというイギリスで編集して香港から送られてくる英語の週刊誌をとっているのですが、その表紙のところで、小泉首相と北朝鮮の金さんが握手をしています。こんなことを書いてありました。

「Junichro Koizumi and the apologetic kidnapper」

小泉純一郎さんとお詫びをしている人さらいというような写真が大きくでています。これは世界で

200 万部以上でている雑誌です。世界の評価はこんな感じです。真ん中の方を見ますと、

[Japan and North Korea not yet friends.]日本と北朝鮮はまだお友達ではない。

ということで、小泉さんと金さんの手のところの写真正がなくて、まだそれが握手寸前の写真正が載っています。非常におもしろい写真正ですけども、これでどうもすみませんでしたということで認めたわけです。

北朝鮮は戦争状況が終わったということの意味すると私は思っています。

6. 大変な思い、つらい思いをした方が随分いらっしゃると思いますが、これからは北朝鮮も心を改めて、お詫びしたわけですから、これでふつうの国というのか、戦争状況から抜けるという状況にやっとなったと思います。ソビエトが崩壊してから 10 年以上経ちましたけれど、10 年遅れで北朝鮮もだんだんだんだん戦争状況から終わって、平和な国を目指すという、そのシンボリックな出来事が今回のことだと思います。小泉さんは本当によく頑張ったなと思います。

7. 北朝鮮に行ってよく分かったのは、北朝鮮はゴミ一つ無い、**kidnapper** とか悪いことをやったのは良くないと思うのですが、非常にきれいな国、ゴミが一個もなく、清潔感にあふれる国で、山には木が切ってあって植えてありませんが、人々はまじめな国民性であります。

8. ですから、これから先、環境がよくなった段階で皆さんが訪問なさるといいと思います。名古屋空港から 1 時間半くらいでチャーター便に乗って私は平壤にきました。本当に近いところにありますので、もし、関係がよくなった段階で日本から沢山観光客の方が行かれ、友好を深めたらいいと思います。ただ、その手前で何が起こったか、どんなことがあったかについては被害者の方が、これほどまでいらっしゃるわけですから、正確に調査して頂いて、その上で納得をしてから国交回復になったら一番いいのではないかと思います。5 年前に北朝鮮を名古屋空港から 1 時間半で行かしてもらった者として、先週に引き続いて報告をさせていただきました。

9. 今交通安全週間です。どうか車を運転している方は、前の車に追突しないように、車間距離十分離して運転して下さいね。私は毎日のように足利から出発し、佐野インターから高速道路にのって東京や宇都宮に行っています。車間距離を離さないで、前の車が急ブレーキをかけたらどうなるのだろうかというような車を随分見えています。そんなことのないように、大事故につなげないためにも車間距離を十分離して運転して下さい。お願いいたします。